



## 佐世保市立大野中学校

所在地：佐世保市松瀬町 838 番地

校長名：諸熊 修一

生徒数：578名（21学級）

校訓：「至誠をもって生涯を貫こう」

### 1 特色ある学校づくりに対する基本姿勢

大野中学校の教育目標は「大きな志と真心を持ち、のびる生徒の育成」です。人権尊重の視点に立った学校づくりに取り組むことで、生徒の集団への所属感と安心感、互いに認め合う関係、主体的に学び合う姿勢と態度を養い、学校教育目標の達成を目指しています。

本年度は、学校スローガンを「大野一心」とし、自己実現への力を育むために、次の視点で特色ある学校づくりを進めています。

- (1) のびる知性
- (2) のびる徳性
- (3) のびる体力・自信
- (4) 開かれた学校づくり

特色ある取組として、講師の先生をお招きしての講演会等により「本物に触れる」機会の充実を図りました。



### 2 実践内容・成果

#### (1) のびる知性

##### 【人権・平和意識の向上】

人権・平和意識の向上のため、全学年を対象に外部講師による学習会を開催し、「本物に触れる」機会の充実を図りました。

今年度の人権学習の年間テーマは「みんなが安心して生活できる大野中にしよう～支え合い、高めあう仲間になろう～」として実践しました。これまで様々な行事をとおして機会の充実を図っています。詳細は以下のとおりです。生徒の感想や生活の様子からも顕著な教育効果が感じられました。

- ・5月22日～23日 講話（学年別集会）「100人100通りの個性 ～I LOVE ADHD～」を演題とし、水アートを体験しました。講師：堀川玄太、貴美子（母）さん
- ・11月30日 講話（全学年）「差別って いったいなんやねん？ ～私と部落問題～」をテーマに山口県人権啓発センター事務局長 川口泰司氏に講演をいただきました。
- ・2月1日、2日、8日（学年別集会）講話・ワークショップ「お話作りワークショップ」「T シャツペイント」SHOGEN さん（アフリカンペイントアーティスト）

他にも事業効果のある行事を企画し進めたところであるが、コロナ禍の中ではありましたが「本物に触れる」機会の充実のため事業効果のある行事を企画実施することができました。



## (2) のびる徳性

### 【校内外における体験活動の充実】

#### ・職場体験学習（職業講話）

社会性を育むために、学校だけでは学ぶことができない体験学習や講演を聞く機会を推進しました。職場体験学習の代わりに職業講話を事業者の数を拡大して実施し、より明確な目的意識をもたせ、それぞれの学習活動に臨ませることができました。

- ・7月11日 講話（2年生）「『働く』ってどんなこと？」を演題としてフォーオールプロダクト代表取締役 石丸 徹郎氏に講演をいただきました。
- ・7月15日に国際交流学習として、韓国からの国際交流員による韓国講座を実施しました。
- ・9月29日に2年生職業講話として、各事業所の方々18名から各種職業についての講話を実施しました。
- ・10月15日合唱コンクールで本校元職員 中島 忠幸氏によるミニコンサートを実施しました。

このことは、本校の教育目標「大きな志と真心を持ち、のびる生徒の育成」に迫ることができました。



### 【横断幕の掲示による意識の高揚・学校園やプランターによる花栽培】

生徒会スローガンの横断幕、挨拶運動ののぼりデザインを生徒会役員に考えてもらい、自分たちの取組として活用しました。また、専門部活動を充実し、ボランティア活動を実施することで、思いやり、配慮の心を養い、生徒の自尊感情を高める活動をしました。また、全国・九州大会出場選手の横断幕を作成し、登下校時、移動教室時に生徒の目に触れるところへの掲示を行いました。

## (3) のびる体力・自信

### 【健康教育の推進】

#### ・11月9日 歯科保健講話

学校歯科医による歯科講話について、全学年、職員及び保護者を対象に体育館で実施しました。

#### ・11月30日 性教育講演会

市保健福祉部健康づくり課の保健師をお招きし、3年生及び職員、保護者を対象に体育館で、性に関する正しい知識だけでなく、生涯にわたって他人を尊重する態度を育てることを目標に実施しました。

#### ・12月6日 薬物乱用防止教室

講話を佐世保税関支署へ依頼し、実際に語っていただくことで、本校の特色ある学校づくりの柱である「みんなが安心できる学校・社会を作ろう ～知る・気づく・行動する～」を実践することができました。また、麻薬探知犬のデモンストレーションも行い、生徒の関心が高まりました。

たくさんの講話により、生徒に「命」、「人権」、「健康」、「人とのつながり」の大切さについて実感を伴って理解させることができました。各学習会後の感想には、「人との関わりを持つことが大事だと感じた」、「もっと自分を成長させたい」、「社会の一員として活躍したい」等、夢や志のあるもの、今後の生活の糧とするもの等、意欲あふれるものが多くみられました。

## (4) 開かれた学校づくり

保護者、地域と共に子どもを育てるという学校の姿勢を伝えることで、保護者にとって「通わせたい学校づくり」を推進してまいりました。学校の教育活動や各講演会についての紹介などを学校だよりやHPの活用により、保護者・地域に積極的に発信することができました。

また、合唱コンクールの審査員に高校の音楽科教諭を招聘し、審査や講評をいただいたり、本校元職員によるミニコンサートを実施したりして、地域への情報発信及び生徒への達成感や成就感、情操心、芸術への興味・

関心を高めることができました。

今年度は、人権教育を柱にしながら、知性、徳性、体力・自信を伸ばし、本校の教育目標で本事業テーマでもある「大きな志と真心を持ち、のびる生徒の育成」に迫る教育活動を続けてきました。さらには、本事業を活用し、全職員で共通理解、共通実践のもと、本校生徒の豊かな心を培う体験的な学習活動や、確かな学力を身に付ける教育活動の充実を図り、特色ある開かれた学校づくりを推進していきたいと思っています。